News Release　　2009 年 4 月 1 日

# 転換期を迎える今、志を持ち、不屈の精神でチャレンジを

太陽誘電㈱ 代表取締役社長　神崎　芳郎

皆さん、入社おめでとうございます。

2009 年の世界経済は、なかなか上向く気配が見えず、まさに世界同時大不況の真っ只中にあると言えます。通常の景気循環とは大きく異なる状況であり、回復期を見通すことは困難ですが、今後も世界経済が回復しないということはありません。世界各国の景気対策も始動しています。必ず立ち直ってくると考えています。

我々はエレクトロニクス産業に属し、世界中で商品を作り、販売するという世界経済に密着した企業です。世界経済が上向けば、需要が上向き、次の成長ステージに向かうことができるでしょう。しかし、今問われているのは、その来るべき次のステージに向けて、我々がこの時期に何を行うかなのです。何を考え、どのように行動し、何が準備できたのかによって、太陽誘電の将来は大きく左右されます。利益を上げて成長し続ける企業になるのか、衰退の道を歩むのか、今が分かれ道になるのです。

このように太陽誘電はまさに大きな転換期にあります。そのような転換期に入社し、その変化の時代に身を置けるということは、皆さんの将来にとっても貴重な経験になることでしょう。自分はこの太陽誘電で何をしたいのか、どのような人間になりたいのか、どんな夢をかなえたいのか、しっかりとした志を持つことが大切です。是非、世界に広く眼を向けて、その志を実現すべく不屈の精神でチャレンジしてください。

会社の一員として働く上で大切なことは、現場を知ることです。太陽誘電は「現場第一主義」を全社員が取り組んでいます。皆さんも机上の論理ではなく、現場へ出て行くことを是非とも第一に実行してください。そして、貪欲に知識を吸収してください。もし、仕事を進める中で分からないことがあれば、理解できるまで質問することが大切です。あいまいなままにせず、「なぜ」を5回繰り返す「5つの Why」を実践してください。そして、仕事を与えられたら、今度は「5W1H」です。いつ、誰が、どこで、何を、なぜ、どのようにして行うのかを明確にして仕事に取り組むようにしてください。そして、次に意識するのは、Plan, Do, Check, Action という PDCA のマネジメントサイクルを廻すことです。この「5つの Why」、「5W1H」、「PDCA」は、仕事を進める上で必ず必要となります。

皆さん全員が新鮮な感性、豊かな発想力、柔軟な考え方、そして挑戦する心をもって、一日も早く仕事の第一線に参加することを期待しています。